

# 東京都小学校生活科・総合的な学習教育研究会

研究テーマ 「新たな価値の創造 ～深い学びの実現を目指して～」

本研究会では、どのような世の中であっても、その変化に合わせて、価値や意味を創り出したり、更新したりしていく子供たちの育成を目指し、生活科・総合的な学習の時間の充実を図る研究を進めて行くために、研究主題を「新たな価値の創造」とすることとした。また、より生活科・総合的な学習の時間の特質を重視した研究にしていくために、「深い学びの実現」を副主題とし、それぞれの視点から以下のように分科会を設定している。

来年の11月令和4年度の全国大会に向けて、実践的な研究を組織的に推進している。

分科会	各分科会の研究主題
A (生活)	児童が思いや願いをもち続け、深い学びを実現していく単元づくり ～環境構成の工夫やカリキュラムマネジメントの充実を通して～
B (生活)	人との関わりを通して新たな気づきを生み出す指導の工夫
C (生活)	生活科の深い学びを支える表現活動の工夫
D (総合)	ブレークスルーから始まる深い学び
E (総合)	発達段階に応じた探究課題や振り返りの視点
F (総合)	子供の学びの必然性から生まれる多様な表現活動
G (生活・総合)	「その時子供が動いた」生活科・総合的な学習の時間の単元 ～「気づき」「探究」の質的向上を目指して～

## 10月研究会の事例 D分科会「ブレークスルーから始まる深い学び」

5年 総合的な学習の時間「5-1 減災・防災プロジェクト」 新宿区立落合第三小学校 大関 真英 教諭

### 単元の目標 (全70時間)


自然災害から多くの人の命を守るために、自然災害そのものや命を守るための対策などについて調べたり、地域で活動している方や防災の専門家と協働して、活動したりすることを通して、災害から命を守るためには、多くの方々の関わりや協力が必要であることを理解する。地域や学校の防災の在り方について考えるとともに、学んだことを生かし、自らの生活や行動に生かそうとする心情や態度を育てる。

【深い学びを目指して】リアルな人の存在に目を向けることで、目標が明確となり、深い学びを実現することができるのではないかと。

(本時のねらい)  
地域の人へ減災・防災対策について伝えるために不安感を取り除き、地域の人たちに伝えたい具体的な対策や、共感していただけの方法を考える。

(展開)  
○前時の振り返りから、「保護者や地域の人に伝えるために、自分たちが感じている不安感を確認する。  
自分たちの心の不安から仙台の齋藤先生への質問を考えよう。」  
○児童が仙台の齋藤先生への質問を考える。

(個人→グループ→全体)  
○学習のまとめと振り返り



【成果】

- ・「関わり方」が大切  
→G Tに関われれば探究の質が向上するのではなく、G Tの思いも大事にして一緒に探究をつくっていく。
- ・「関わり」を大切にすることで、課題が更新され、児童の熱量が上がる。  
→探究の質が高まる＝深い学びにつながる

【課題】

- ・具体的にどんな変容があったか検証が不十分  
→検証方法を確立し、質的評価、量的評価をしていく必要がある。
- ・効果はありそうだが、分類がいまひとつ。  
→手立てと効果の精選をしていく。

今後の活動予定

◆冬季研究会◆  
令和4年2月26日(土)9:15-  
会場：武蔵野市立境南小学校  
※本研究会に興味のある方は、ぜひご参加ください。

代表者・連絡先

代表者：武蔵野市立境南小学校 校長 宮崎 倉太郎  
連絡先：新宿区立落合第三小学校 校長 清水 仁  
03-3565-0941 hitoshi.shimizu@city.shinjuku.lg.jp